

令和８年第３回龍ヶ崎市議会定例会
一 般 質 問 一 覧 表

番 号	議 員	質 問 の 要 旨
1	久米原 孝 子	1 総合福祉センター、ふるさとふれあい公園について (1) 福祉ゾーンの役割について (2) ふるさとふれあい公園について (3) 市民が安全に憩える河川環境の整備と釣り人との共生について 2 タップくん健康マイレージについて (1) 現状について (2) 今後の取組について 3 生活道路における時速30キロ規制について (1) 周知について (2) 現状について (3) 今後の対策について 4 ごみ集積所の設置・管理について (1) 現状について (2) 新規設置の条件について (3) 海外の方への対応について
2	大 野 みどり	1 プレコンセプションケアの取組について (1) 当市の認識と現状について (2) 普及啓発の取組について (3) プレコンチェックの検査費用の助成について 2 不登校の児童生徒への学びの支援について (1) オンライン授業配信について (2) メタバースの活用での学習支援について (3) アウトリーチ支援について ア 取組の現状と成果について イ 今後の課題 3 ひきこもり支援について (1) 当市のひきこもりの実態 (2) 重層的支援体制整備事業について (3) ひきこもり相談について ア 体制と実態 イ つなぎ先のない人への中間支援について

		ウ 訪問支援について エ ひきこもり相談窓口の設置について
3	山 宮 留美子	1 災害時の人的受援体制について (1) 相互応援協定の取組について (2) 災害時、他自治体からの人的支援に対する受援計画について (3) 災害時における市職員の業務計画と体制について 2 医療的ケア児支援法の改正を踏まえた切れ目ない地域支援体制の構築について (1) わが市における医療的ケア児の現状について (2) 法改正を見据えた本市としての今後の対応について (3) 18歳の壁を解消する体制について (4) 家族の支援についての考え方 3 HPVワクチンの情報処理促進について (1) 直近の男女接種対象者の接種率について (2) 周知方法によって接種率は向上したのか (3) 専門家による出前講座の取組について 4 肺炎球菌結合型ワクチンの独自助成について (1) 今年度の接種対象者数 (2) 過去5年の65歳の接種者数と接種率 (3) 66歳以上で未接種の方の助成についての考え方 5 視覚障がい者の支援の在り方について (1) 行政情報のアクセシビリティについて (2) 災害時の情報保障について (3) 個別避難計画について (4) 当事者参加による施策の改善について
4	札 野 章 俊	1 龍ヶ崎市におけるコンパクトシティの在り方について (1) 茨城県内における市の合併についての認識・評価（土浦・かすみがうら／常総・坂東） (2) 当市の人口減少対策の施策とその見通し (3) 自治体の合併で人口減少の解決策となると考えるのか (4) 龍ヶ崎市は合併を依頼する側か、される側になれる魅力があるのか (5) コンパクトシティの認識と取組 (6) コンパクトシティなのか広域行政区なのか市長の考えを伺います 2 魅力あるまちづくりについて（ライトレール構想）

		(1) 関東鉄道竜ヶ崎線が廃止となった場合のBRTイメージと予算 (2) 市内循環ライトレールの実現に想定している予算と利用者数 (3) 実質公債費比率からみた龍ヶ崎市の借入限度額は (4) 魅力あるまちづくりの為に交通インフラを整備することが必須
5	油 原 信 義	1 龍ヶ崎市の行政改革について (1) 社会の変化・重要課題に対応した組織改編の取組と現状における課題について (2) 外部有識者による行政経営評価委員会の施策や事務事業の検証結果を受けての取組について (3) 事業仕分けについて
6	椎 塚 俊 裕	1 令和8年8月千葉豪雨から学ぶ水害リスクと防災意識について (1) 河川氾濫と内水氾濫の構造の違いと備えについて所見を伺います (2) 改めて大雨特別警報への防災意識、都市型水害の恐ろしさ内水氾濫への意識と対応について伺います (3) 当市においても、「龍ヶ崎市内水ハザードマップ」は作成されていますが、点検と見直しが必要と思われますが所見を伺います (4) 1時間100ミリの雨が降ると下水から溢れるケースも出てきますが、当市の雨水排水計画はどのようになっていますか 2 地域公共交通関東鉄道竜ヶ崎線とまちなか再生について (1) 関東鉄道の鉄道軸としての価値と都市拠点の再構築に向けた視点について当市の考え方をお知らせください (2) 竜ヶ崎線は市民文化遺産に認定され地域のシンボルです。モビリティ政策における唯一無二の核でもあり、まちなかへの玄関口です。竜ヶ崎線がなくなった時の「代償」は、どのように考えているか所見を伺います (3) 関東鉄道竜ヶ崎線の保存・象徴は、過去の歴史を記念碑的に残すことではなく「龍ヶ崎らしさ」を象徴する鉄道軸を核に、官民で未来の街をデザインし続ける仕組みを維持していく、市民主体のまちなか交流空間やサードプレイスなど活性化に向けた支援が必要と思いますがご見解を伺います (4) 将来的に、駅北開発等の成長エンジンへの変換の考えは

7	大 竹 昇	1 今こそ、持続可能な龍ヶ崎市へのアプローチ (1) 経常収支比率と生産人口との関係について ア 2000年から2025年の5か年別の経常収支比率と生産人口について イ 経常収支比率と生産人口の相関関係について (2) ふるさと納税について ア 本市のふるさと納税の直近5年間の寄付額と件数の推移について イ 直近5年間の都城市のふるさと納税の寄付額と件数と代表的な返戻品について (3) 観光入込客数について ア 本市の代表的な観光施設とイベントの直近3年の人数と主な観光施設やイベントについて イ 茨城県内上位3自治体の観光入込客数の直近3年の人数と主な観光施設やイベントについて (4) 関係人口について ア 関係人口の定義について イ 関係人口の必要性について ウ 当市の関係人口の取組について エ 他市の関係人口の取組事例について 2 広域行政の在り方について (1) 広域行政の意義について (2) 今取り組んでいるごみ処理の広域化、ごみ処理施設の集約化の進捗状況について (3) 統合による再生可能エネルギーに関する仕様内容について
8	後 藤 光 秀	1 教育環境と学校施設の利活用について (1) 小中学校児童生徒の熱中症対策について (2) 小中学生のいじめ問題について (3) 廃校跡地の利活用について 2 祭りの振興と大型花火大会について (1) 龍ヶ崎市八坂祭礼について (2) 市内各地域の祭りについて (3) 龍ヶ崎大型花火大会について
9	石 嶋 照 幸	1 龍ヶ崎市駅東口ロータリーの現状と今後について (1) 実証実験に対する市民からの声はあるか (2) 東口ロータリーの実証実験の検証は

		(3) 改善点や新たに生まれた課題などはあるか (4) 今後の取組について 2 外国人住民増加に伴う本市の考え方について (1) 近年の本市の外国人住民の推移は (2) 住民増加による課題や相談は (3) 外国人住民に対する本市の考えは (4) 共生をするうえで本市の考えは (5) 市長の公約にある海外都市との交流は (6) 具体的な取組を検討しているか
10	伊 藤 悦 子	1 子育て支援の充実について (1) 学校給食費の無償化を来年度も継続することについて (2) 補助教材・学用品等の負担軽減の拡充について 2 学習環境の充実と避難所機能の強化に向けた、小中学校体育館へのエアコン設置について (1) エアコン設置に向けた進捗状況はどうですか (2) 機種選定は、環境（省エネ、脱炭素）や避難所機能の強化に配慮したものに 3 小中学校に冷水器の設置について
11	加 藤 勉	1 ふるさと納税の有効活用で新たな財源確保を (1) ふるさと納税の概要（簡単な仕組みと経費の割合、収支が赤字の場合の国の支援策など）を説明願いたい (2) ふるさと納税額の県内順位はどのような状況なのか (3) ふるさと納税制度は、この10月以降にどう変わるのか (4) 当市のふるさと納税の現状と課題、今後の取組について ア 実質収支（過去3年間）はどのような状況なのか イ 当市での課題と納税額を増やすための取組を伺いたい ウ 先進地への職員派遣は実施しないのか (5) ふるさと納税を専門業務とする課を新設すべきでは 2 歴史的建造物等をまちなか再生にどう活かすのか (1) まちなか再生プラン（令和2年3月策定）で何が実現できたのか (2) 歴史的建造物を活かしたまちなか再生について ア 悉皆調査の結果を伺いたい イ 今後はもう少し詳細な調査を行う段階へと進むのでしょうか ウ 歴史的建造物を活かしたまちなか再生を進める考えはある

		のでしょうか 3 市政を担う職員をどう育てるのか (1) 職員の概況（離職者数や職員の年齢構成等）を伺いたい (2) 前計画等における評価について ア 試験的に導入した多面評価は、本格導入となるのか イ 人事評価に関して、若手職員からどのような指摘があったのか ウ ジョブローテーションについては、どのような課題があるのか エ グループ制に関して、課長級職員からどのような課題が指摘されたのか (1) 策定された職員人材育成総合計画について ア 目指すべき職員像を変更した理由を伺いたい イ 「各階層の役割と求められる能力」については、どのような理由から再定義をしたのか ウ 複線型人事を何故進めるのか エ 係長以上への昇格選考を導入する理由を伺いたい オ 採用募集区分の拡充を行う理由を伺いたい
12	山 村 尚	1 市民の想い、考えを取り入れた牛久沼の活用と周遊・地域づくりについて (1) 東岸市有地を牛久沼活用の拠点として、周遊につなげる考え (2) 牛久沼活用市民会議の意見を今後の事業に反映する考え (3) 周遊ルートを観光・交流につながるルートへ発展させる考え (4) 牛久沼の自然・歴史・地域の記憶を「学び・伝える」仕組み (5) 牛久沼の活用を龍ヶ崎市全体の活性化につなげる考え 2 ICTを活用した、子ども一人ひとりに応じた教育環境の充実について (1) 現在のICT活用の評価について (2) ICTを活用した個別最適な学びの保障について (3) 校内支援センター等の居場所とICTの活用について (4) AI・教育データを活用した早期支援について (5) 学校間の教育環境の現状について
13	岡 部 賢 士	1 豪雨災害対策 (1) 当市の取組状況 (2) 被害想定（当市の現状は安心できる状況なのか） ア 今年8月の千葉県豪雨災害と同規模の集中豪雨があった場

		合に、当市ではどのような被害が想定されるか (3) 新たな防災気象情報（令和8年5月から運用開始） ア 変更内容と目的 イ 当市での対応状況 (4) 今後の取組 ア 気候変動に伴い激甚化、頻発化している豪雨災害に対応するために、どのような取組をしていくのか イ 地域ごとの危険箇所の改善とあわせて、市全体の雨水排水の整備に関する計画を策定すべきでは 2 住民自治組織（自治会等）の存続のために (1) 防犯灯の電気料金公費化 ア 設置基準変更の理由 イ 現在の設置状況より悪くなることはないのか ウ 住民自治組織が独自に設置した防犯灯について (2) デジタル化導入支援 ア 具体的に予定している取組と期待できる効果 (3) 住民の加入意識低下に対する取組 ア 活動のPR、住民自治組織の必要性の周知 イ 子ども向けイベントや見守り活動等の支援
14	大 野 誠一郎	1 スポーツライミングのまち龍ヶ崎について (1) 「令和7年度スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進事業の検証について (2) ユース大会について ア 令和7年度小中学生大会の収入1,819万円、支出2,386万円、差し引き赤字567万円の予算は、「適正な予算」と言えるか イ 基本構想に示されている、ジャパンカップ、ワールドカップは、本当に開催する計画であったのか ウ ジャパンカップ、ワールドカップの1,000万円の委託金の行方は (3) アンケートについて (4) 人材について (5) 資金調達について (6) 「市民の合意」はどのように諮るか
15	石 引 礼 穂	1 小中学生の自己肯定感を育む教育の推進について (1) 本市の子どもたちの自己肯定感の現状認識について (2) 自己肯定感を高めるための学校内での既存の取組について (3) 外部講師を活用した自己肯定感向上の取組について

		(4) 今後の推進体制について 2 牛久沼東岸市有地の整備方針と民間活動・広域連携のあり方について (1) この場所の独自価値と水辺公園との差別化について (2) 民間活力の導入について (3) 牛久沼周遊ルートの拠点としての位置づけと広域連携について
--	--	---